

設立

陸海軍病院や結核療養所由来の旧国立病院・国立療養所が、2004年に**独立行政法人**に移行し発足。

独立行政法人とは

国が行っている事業のうち、**公共上の見地から確実に実施されることが必要なものであり、民間の主体に委ねた場合には、採算上の問題などから実施されない恐れのあるもの**について、効果的かつ効率的に事業を行うことを目的として設立される法人

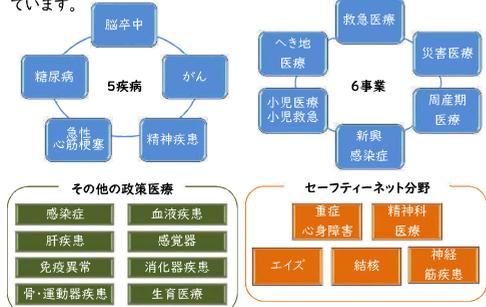
国立病院機構（NHO）とは？ NHO：National Hospital Organization

日本最大級の病院ネットワーク
 病院数 140病院 病床数 約50,000床
 職員数 約60,000人

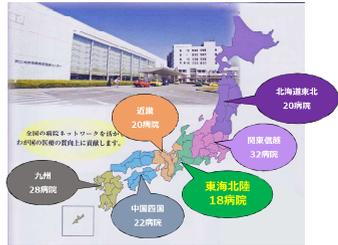
薬剤師数 約2,100人

国立病院機構の業務と担う医療

地域における診療拠点として、**5疾病6事業**などの地域における**医療提供体制の確保**に大きく貢献しています。
 HIVなどの政策医療に貢献すると共に、結核、重症心身障害、筋ジストロフィーを含む神経・筋難病などの設置主体では体制の整備、経験の面で難しく、不採算とされることからアプローチが困難な分野についても、患者・家族が安心して治療、療養ができるよう、各地域の国立病院機構の病院が**確実な医療提供を通じセーフティネット**として支えています。



国立病院機構の組織



東海北陸グループ18病院と関連施設



人事交流先と主な業務

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター（愛知県大府市）

認知症、フレイルなどの**高齢者の医療・研究**

国立医療療養所（静岡県御殿場市）

ハンパン医療養所

厚生労働省（東京都）

医療保険制度、**医薬品・医療機器などの安全性等確保・研究開発支援**、食品の安全の確保に関わる施策

医薬品医療機器総合機構（PMDA）（東京都）

医薬品・医療機器・再生医療等製品などの**審査**、副作用報告収集などの**安全対策、健康被害救済**

日本医療研究開発機構（AMED）（東京都）

医薬品、医療機器・ヘルスケア、再生・細胞医療・遠伝子治療など、6つの**統合プロジェクト**を中心とする**研究開発を推進**

国立病院機構本部 総合研究センター

治験・臨床研究の推進、中央治験審査委員会の事務局業務

転勤・異動

異動は3～5年を目安

施設により宿舎あり、住居手当・転居補助あり、単身赴任手当などあり
 毎年、職員カードで希望施設を調査
 家庭の特別な事情、健康状態、資格取得希望なども考慮
 他グループへの異動も可能

国立病院機構薬剤師能力開発プログラム NHO PAD

キャリア形成の過程に必要な**チェックポイント**（知識・手技・人間関係など）を示し、自己研鑽のナビゲーターとして教育支援を行う**自己評価及び指導者の評価を可能としたチェックシート**形式基本能力開発から管理能力開発まで幅広いプログラム
 新人教育にも利用。年2回、**メンターによる面談**を実施し、評価。

新人薬剤師育成の標準化

薬剤師奨学金返還支援金貸与制度

（概要）

- ① 新たにNHO病院に採用され、奨学金の返還義務を有する40歳以下の常勤薬剤師
- ② 10年間
- ③ 最大10年間で600万円（年額60万円が上限）



教育・研修制度

国立病院機構の特色として、**全国や地域（東海北陸）のネットワーク**を活かし、**教育・研修制度が充実**しています。
 東海北陸グループの**薬剤師**で構成している**東海北陸国立病院薬剤師会**による研修も多数あり、**メンタルスタッフ**との交流型研修が多数あり、毎年、全国の国立病院職員で行う**国内最大規模の国立病院総合医学会**という学会もあり、**教育・研修を通じてスキルアップ**ができます。

国立病院機構本部 主催 (46コース)
災害医療研修、薬剤師科長研修、リーダー養成研修、メンタルヘルス研修 臨床研究のデザインと進め方に関する研修 その他多数
国立病院機構東海北陸グループ主催 (50コース)
院内感染対策研修、栄養サポートチーム研修、がん緩和ケア研修 HIV感染症研修、輸血研修、クリティカルパス研修、災害医療研修 中間管理者研修、医療安全研修、医療メディアエーター研修、治験研修 新規採用者研修(薬剤師) その他多数

東海北陸国立病院薬剤師会

薬剤師の会員相互の親睦を図り、互いに士気を高めることで、倫理・学術的水準を高め、薬物療法の提供やチーム医療への参加を通じて医療の質向上、医療安全の確保に貢献することを目的に3つの委員会を通じ、常に会員間の交流を行うと共に、年に1度の総会でさらに交流しています。

○教育研修委員会

新入局薬剤師自己評価プログラム

研修会(採用薬剤師、メンター、ファシリテーション、
MBTI研修(中堅・リーダー層の研修)、など)

○業務推進委員会

プレアロイド事例共有、育児中薬剤師のインタビュー、
QC活動(業務効率化)、業務共有(褥瘡、NSTなど)、
研修会(フィジカルアセスメント、輸血ライン設計など)

○学術研究委員会

共同研究実施、症例討論会、研究討論・発表会、
研修会(研究デザイン、統計、論文抄読など)

3委員会とも多施設で薬剤師が交流しています。



長良医療センター病院理念

その人らしく「生きる」を支える

病床数

医療法病床数 **327床** (7看護単位)

内訳 一般病床	129床
結核病床	18床
障がい者病床	180床

(重症心身障がい児(者)140床 筋ジストロフィー 40床)

診療科 (20診療科)

内科 神経内科 呼吸器内科 循環器内科 小児科
 神経小児科 消化器内科 産婦人科 外科 呼吸器外科
 心臓血管外科 小児外科 脳神経外科 形成外科
 リハビリテーション科 放射線科 歯科 アレルギー科
 整形外科 緩和ケア内科

・救急告示病院 ・基幹型臨床研修病院 ・感染症法指定病院
 ・エイズ治療拠点病院 ・結核病床を有する指定医療機関

<令和6年度診療実績>

病床利用率 80.6%、病床稼働率 82.6%
 のべ入院患者数 96,513人(新規入院患者数 2,431人)

1日平均入院患者数 264.4人
 (一般 83.0人 結核 5.7人 障害 175.8人)

平均在院日数 一般: 15.2日 障がい者: 218.6日
 のべ外来患者数 37,248人

1日平均外来患者数 153.3人
 手術件数 279件/年



長良医療センター薬剤部

<令和6年度診療実績>

薬剤師数 **10名** (1名育児時間勤務取得中) 当直勤務あり

処方箋 入院: 2,220.0枚/月 院外処方箋発行率 94.8%

注射処方箋 入院: 1,715枚/月 外来: 211.1枚/月

錠剤分包機、散剤分包機(散剤監査システム)、全自動散剤分包機

クリーンベッチ、安全キャビネット(混注鑑査システム)、電子カルテ導入

無菌製剤調製: 62.0件/月 連携充実加算: 25.6件/月

薬剤管理指導料: 218.3件/月 2130.6件/月 合計: 348.8件/月

病棟薬剤業務実施加算取得

勤務薬剤師保有資格・施設認定

医療薬学指導薬剤師 医療薬学専門薬剤師

がん指導薬剤師 がん専門薬剤師

緩和薬物療法認定薬剤師 緩和医療暫定指導薬剤師

認定実務実習指導薬剤師 日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師

日本臨床薬理学会認定CRC-GCP/パスポート

医療情報技師 診療情報管理士、NST専門療法士

日本糖尿病療養指導士 小児薬物療法認定薬剤師

一般社団法人日本医療薬学会 医療薬学専門薬剤師認定制度

医療薬学専門薬剤師研修施設(基幹型)

一般社団法人日本緩和医療薬学会 緩和医療専門薬剤師認定制度

緩和医療専門薬剤師研修施設



散薬の秤量からフルオートメーション化した全自動散剤分包機を導入
 抗がん剤調製は、混注鑑査システムを導入。一包化監査支援システムも
 導入予定で**DX・近代化**へ積極的に取り組んでいます。

